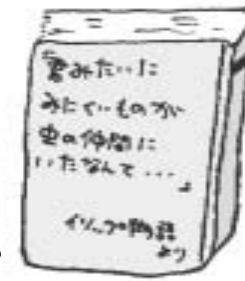


# 聞いて 見て 育てて カ・ン・ゲ・キ! セミ&チョウにズームイン!



美しい  
チョウに  
変身した  
のよ!



夏になると、身近なところにいるんな虫たちが姿をあらわすようになるよね。アリ、ダンゴムシ、セミ、チョウ、カブトムシ…。虫の好きな子も嫌いな子もよく観察してみない？ 観察すればするほど虫ってスゴイぞ！もっともっと虫たちが好きになるかもね。

協力：楠中学校 木村裕之先生



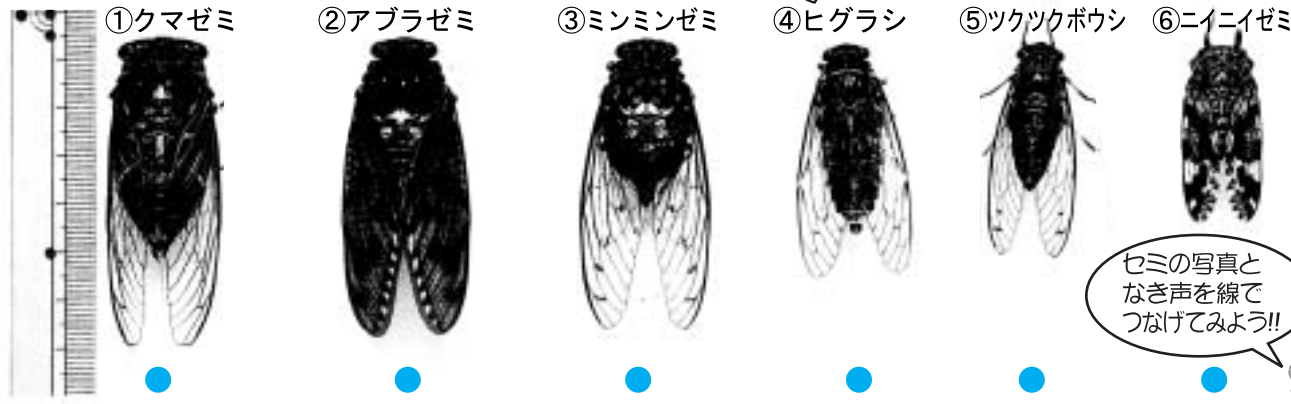
## 鳴き声ですぐわかる!! セミの種類

セミの鳴き声はひとつじゃないよ。君は鳴き声をいくつ聞き分けられたかな？



セミは鳴き声に特徴があるから声を聞くだけでも種類がわかるよ。種類によって鳴く時間帯も違うよ。鳴かないセミはメスだよ。オスとメスの違いも調べてみよう。

写真提供：京都成安高校 米澤信道先生



セミの写真と  
なき声を線で  
つなげてみよう!!

ミンミンミン シャワシャワ ツクツクボウシ ジージー チーチー カナカナ

調べるの  
コツは  
観察!!



メス  
おなかの先に  
われ目(産卵管)がある

左がアブラゼミ、右がクマゼミのぬけがら。クマゼミの方がやや大きくお腹が白っぽく見える。  
写真提供：四日市市環境保全課



## セミの上手なつかまえ方

- ・一番鳴き声の多い木を探そう。
- ・つかまえるときそっと後ろからアミを近づけて。
- ・大きなアミよりも小さいアミの方がよくつかまえられるよ。
- ・さあ、がんばってみて!

## アミを作ってみよう

台所の排水口用のアミ袋(なるべく大きいもの)の口に針金を通して、針金の端を棒などに固定する。アミの袋は空気穴をあけたビニール袋でもいいよ。アミの袋の直径が大きすぎると木とアミの袋のすきまから逃げてしまうことがあるよ。

皆で  
作ろう!!

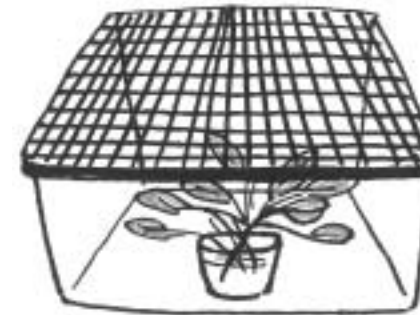


## チョウの幼虫を見つけよう!

夏によく見かけるナミアゲハの幼虫はミカン類(ミカン、スタチ、キンカン、カラタチ)など、キアゲハの幼虫はセリ科(ニンジン、セリ)の植物にいるよ(アゲハの幼虫が食べる葉は決まっているんだよ)。



小さい幼虫(黒い幼虫)より、できるだけ大きいみどり色の幼虫を選ぶといいよ。幼虫を見つけたら直接手でつかまえないで、幼虫のいる葉っぱや枝ごとに入れて入れ物に入れよう。近くにミカンの木がなかったら…? どんな幼虫でもチャレンジして飼育してみよう。どんなチョウに変身するかとっても楽しみだね。



## チョウにやさしい飼育の仕方

飼育用の入れ物は内側の面がざらついているものがないよ(サナギから出てきたチョウが足をかけられるように)。適当なものがないときには、入れ物の中に水を入れたピンを置いて、その中に葉っぱのついた木の枝などをたくさん入れて、サナギになる場所を作ってあげよう。みどり色の幼虫は葉っぱをたくさん食べて大きくなるので、葉がしおれたり枯れたりしてエサ不足にならないように気をつけよう。フンのそうじも忘れずにね!



## 最大のドラマをみのがさないでね! チョウに変身する瞬間

初めての飼育で、幼虫→サナギ→チョウと成長する過程を観察できたお友達はとてもラッキーだったね。途中で死んでしまったりしてもあきらめなくて、もう一度チャレンジしてみよう。次はチョウを何匹つかまえて卵を産むところから観察するなんてどうかな? そんなことができるようになった時には、君はりっぱなチョウ博士だね。



## 木村先生からのメッセージ

「虫ぎらいな子どもと、そのお母さんへ」

イメージだけで嫌われないで、じっくり観察してください。アリはどうしてあんな小さい体と細い足で、あんなに素早く動けるのでしょうか。ハチは1秒間に何回羽を動かすのでしょうか。昆虫は人の想像を越えたすばらしい能力を持っています。美しい色彩、面白い習性、見事なまでの敵から身を守る方法など、きっと多くのことが観察から学べるはずです。

セミの鳴き声クイズ回答 クマゼミ→シャワシャワ アブラゼミ→ジージー ミンミンゼミ→ミンミンミン  
ヒグラシ→カナカナ ツクツクボウシ→ツクツクボウシ ニイニゼミ→チーチー